

表1. 福祉介護施設のSWOT分析（例）

	内部環境	外部環境
<p>強み</p> <p>／</p> <p>機会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内部留保が5億円ある ■ 借金がない ■ 介護福祉士資格者が多い ■ 配置基準に比べて職員が約10名多い ■ 営繕専門の技術者を配置しているので修繕費が掛からない ■ 給食が自前なので食材調達が工夫でき、安くて質の良い食事が提供できる ■ 助成金専任担当者を配置しているので年間で助成金を約1000万円受給している 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 近隣のデイサービス・訪問介護が倒産、閉鎖してきている ■ 団塊世代の退職者が増えてきているので色々なノウハウを持つ良質な労働力が期待できる ■ 近くに福祉系の4年生大学ができる ■ 低金利のため借入れの利息が安い ■ 近隣に病医院が多く、急患の対応がスムーズ ■ 働き方改革で助成金が充実してきた
<p>(弱み)</p> <p>／</p> <p>(脅威)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 稼働率が低迷していて収入が増えない ■ 人件費率が高い（70%超） ■ 人件費率が高い割には職員の給与が低い ■ 収支差（利益）率が低い（2%前後） ■ 離職率が高い（15%以上） ■ 人材確保が場当たりの ■ 管理職が育たない ■ 施設長等、役職の世代交代が進まない ■ 派遣社員が増えてきた 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口減により利用者が減っている ■ 特養待機者が減ってきている ■ 入院や死亡リスクが高い利用者が増えてきた ■ 介護報酬のUPは期待できない ■ 求人募集しても人が採用できない ■ 若者が他県へ就職する ■ 近隣にサ高住やグループホームが新設されて従業員が流れていく